

2026 年度(令和 8 年度)学校評価自己評価表

新市中央中学校区

校番 66

福山市立常金丸小学校

最終更新日

2026年(令和8年) 4月 1日

I 福山市

めざす姿

すべての子どもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現

II 中学校区

前年度学校運営協議会(学校関係者評価)の主な内容

- ・学校や地域等で、気持ちの良い挨拶ができています。また、教職員が、生徒たちの取組を「自分事」としてとらえることができています。
- ・メディアコントロールの取組では、生徒が自分で考え、「やってみよう」という意識づくりの大切さが伝わってきた。引き続き、自分で気づき、行動する力を高めるように指導・サポートしてほしい。
- ・学力向上へ向けての取組を継続してほしい。

児童生徒の現状

- ・学力調査等の結果から、基礎的・基本的な内容が定着してきている。また、家庭及び地域の方の力を結集し、メディアコントロールに取り組んでおり、生活習慣の改善が見られ始めている。
- ・校区で育てたい資質・能力を意識しながら各活動に取り組むことで、校区全体の肯定的評価は、チャレンジ&チェンジする力(88.1%)自己理解力(87.0%)自己表現力(83.4%)といずれも80%を超えており、4月と12月比では、12月比はいずれの項目も上昇している。

育成する 資質・能力	チャレンジ&チェンジする力、自己理解力、自己表現力
めざすこども像 (義務教育修了時の姿)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の目標達成に向けた計画を立て、取り組む児童生徒。そして、その取組を定期的に振り返り、改善策を考える児童生徒。</li> <li>・自分の将来の夢や目標を持つ児童生徒。</li> <li>・自分の思いや考えを相手に分かりやすく説明する児童生徒。</li> </ul>
中学校区として 統一した取組等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や教職員、地元事業者、地域の方と育成したい資質・能力を共有しながら、出前授業、探究的・体験的な学習など、様々に取り組んでいく。</li> </ul>

育成する 資質・能力	チャレンジ& チェンジする力	自己理解力	自己表現力
めざす こども像	低学年 自分のやりたいことに挑戦する。	自分の良さに気付く。	自分の思いを相手に伝えることができる。
	中学年 困難なことにも挑戦し、最後までやりきる。	自分の得意な事や夢中になれる事を見つける。	自分の思いや考えをまとめて表現することができる。
	高学年 活動をふり返り、改善策を考える。	自分の将来の夢や目標を持つ。	自分の思いや考えを多様な表現方法を用いて説明できる。

研究	テーマ	表現することを楽しむこどもの育成 -創造力豊かに書く授業づくりを通して-
	内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が書きたいと思える導入の工夫</li> <li>・各学年の発達段階に応じた物語の構造の工夫</li> <li>・作品を読み合い、思いや考えを伝え合う場の工夫</li> </ul>
めざす授業の姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が、読み手にとって分かりやすい構造的な文章の書き方を知り、表現することが楽しいと感じる授業</li> <li>・児童相互のかかわり合いを通して、主体的に学び表現している授業</li> <li>・児童が自己調整力を働かせ、自己の課題追究を進める授業</li> </ul>

III 自校

学校教育目標

自ら学び 心豊かに たくましく生きる子どもの育成

現状

<児童>

- 授業中の自己選択・自己決定や地域との交流、体験活動を通して児童の学習する姿が変わりつつある。
- ・「学ぶことが面白い」と感じている児童 83.4%(7月)▶90.3%(2月)
- ・「自分の考えや思いが表現できた」児童 85.7%(9月)▶87.8%(2月)
- 全国学力・学習状況調査の正答率の全国比は、国語科+6.2 算数科+3、正答率40%未満の児童は、算数科において16%であった。全体的に、算数科において数と計算や図形、国語科においては、条件に合わせて自分の考えを明確に書き表すことの定着が不十分である。
- メディアコントロールDayの過ごし方が少しずつ意識されてきている。
- ・平日1日当たり3時間以上ゲームする児童 26.8%(9月)▶12.2%(2月)

<授業>

- コミュニティスクールを生かした学習場面が広がり、総合的な学習の時間を中心とした体験活動によって学習意欲が向上している。
- 国語科を中心とした授業づくりに取り組み、学習計画の工夫や単元を貫く問いを生かした授業を通して、児童も教師も教科の面白さが少しずつ実感できてきた。
- 年間を通して互いに授業を見合う「見る見る授業」を実践し、交流を通して自分の授業に生かす等、個々のやりがいに繋がっている。

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立常金丸小学校

年 目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る取組状況	プロセス評価	達成評価	改善方策	□指標に係る取組状況 ◎短期(中期)経営目標の達成状況	プロセス評価	達成評価	総合評価
3	児童が自己調整力を発揮し、基礎学力の定着及び学び続ける力を育成する。	★	見直し	児童が自己調整しながら、書く力を高める。 <チャレンジ&チェンジする力>	・自らの目標に向け自己選択・決定の場を通じて学びを深める授業に取り組む。 ・授業の中で個々の理解度に応じた支援を行うことで、基礎学力の定着を図る。	・「学ぶことが面白い」と感じる児童を93%以上にする。(R7 90.3%) ・国語科と算数科の単元テスト、学力テストにおいて40%未満の児童を10%以下にする。(R7 21%)								
2	人とかかわりを重視した教育活動を推進する。	★	継続	他者とかかわりを通して、自分の良さを知り、伸ばそうとする児童を育成する。 <自己理解力>	・縦わり班活動や異学年交流を通してかかわり合う場を設定し、肯定的評価を継続する。	・自分のよさが認められていると感じる児童を90%以上にする。(R7 80.4%)								
			継続	自分の思いや考えを多様な表現方法を使って説明できる児童を育成する。<自己表現力>	・自己の課題解決に向けて交流館、地域、地元企業等と一緒に授業に取り組む。 ・教科の学びを生かし、様々な方法で自分の考えや思いを伝え合う活動や場を設定する。	・「地域とふれ合い学ぶことができた」児童を100%以上にする。(R7 98.8%) ・自分の学びをふり返り「自分の考えや思いが表現できた」児童を90%以上にする。(R7 87.8%)								
6	教職員・児童が元気・笑顔で勤務・登校できる環境を充実させる。		見直し	児童・教職員がやりがい・充実感をもって教育活動を行う。	・教職員の個性を生かした分掌に配置し、教職員の気付きやアイデアを取り入れた業務改善を進める。 ・毎週木曜日をメディアコントロールDayとして生活習慣を確立する。 ・児童や保護者の困り感を把握し、早期対応と居場所づくりをする。	・「自分の仕事にやりがいや充実感がある」教職員を100%にする。(R7 100%) ・1日当たりのゲームが3時間以上の児童を0%にする。(R7 12.2%) ・新規長期欠席者の出現率を0%にする。(R7 0%)								

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。